



Title	語文 第122輯 表紙/目次
Author(s)	
Citation	語文. 2024, 122
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/98205">https://hdl.handle.net/11094/98205</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

令和六年六月三十日 発行  
平成元年十二月五日 学術刊行物認可

語

み

## 大阪大学国語国文学会

## 第百二十一輯

兼家の歌に自ら返歌する前の道綱母	堤 和博
—「蜻蛉日記」上巻の「今これより」と「しれたるやうなりや」の検討を通して	
明石の尼君は歌を詠んだか	小林 理正
—「源氏物語」(若菜下巻)住吉詣の和歌(首再考)	
金剛寺藏『諸打物譜』所載「順次往生樂次第」について	中原 香苗
連歌と「挨拶」—当座性のありか	40
森鷗外「田楽豆腐」論	浅井 美峰
—モノと空間の表象に潜伏する権力	51
大江健三郎「他人の足」論—「人間」という陥穀と「書く」rijmu—	福田 涼
発音規範と謡曲「四つ仮名」に関する言説をめぐつて	山田 昇平
紹介 徳永光展著	67
『国際日本学の探究』 夏目漱石・翻訳・日本語教育	ALACAKLIJOGLU Burcu
紹介 蜂矢真郷著『国語語構成要素研究』	93
令和五年度卒業論文・修士論文・博士学位論文(課程)題目	伊藤 智弘
令和六年度講義題目	95
彙報	97
ミネアボリスのアメリカ陸軍情報部日本語学校における語学兵の養成・徳永 光展	119
—山崎豊子「二つの祖国」に描かれた太平洋戦争下の日本語教育	100
「～はおろか、～」構文の歴史—副詞節を構成するコピュラ文—	99
北崎 勇帆	97
	134